

## 2. 養護に関する基本的事項

## (1) 養護の理念

★★★★★ check     

保育における養護とは、子どもの**生命の保持**及び**情緒の安定**を図るために保育士等が行う援助や関わりであり、保育所における保育は、**養護及び教育を一体的**に行うことをその特性とするものである。保育所における保育全体を通じて、養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育が展開されなければならない。

## (2) 養護に関わるねらい及び内容

★★★★★ check     

## ア 生命の保持

## ア) ねらい

- ① 一人一人の子どもが、**快適**に生活できるようにする。
- ② 一人一人の子どもが、**健康**で**安全**に過ごせるようにする。
- ③ 一人一人の子どもの**生理的欲求**が、十分に満たされるようにする。
- ④ 一人一人の子どもの**健康増進**が、積極的に図られるようにする。

## イ) 内容

- ① 一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。
- ② **家庭との連携**を密にし、**嘱託医**等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で**安全**な保育環境の維持及び向上に努める。
- ③ 清潔で安全な環境を整え、適切な援助や**応答的な関わり**を通して子どもの**生理的欲求**を満たしていく。また、家庭と協力しながら、子どもの発達過程等に応じた適切な**生活のリズム**がつくられていくようにする。
- ④ 子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と**休息**を取ることができるようにする。また、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが**意欲的**に生活できるよう適切に援助する。

## 語句説明

## 生理的欲求

命を維持するために最低限必要とされる欲求のことで具体的には「食欲」、「排泄欲」、「睡眠欲」などが挙げられます。

## 実践!!

家庭との連携を密にし、嘱託医等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で（ ）な保育環境の維持及び向上に努める。

→ 「疾病・事故防止」と「保健的・（ ）」の対応関係を読み取ることができるので「事故防止」に対応する「安全」を選択肢から選ぶことができます。

## イ 情緒の安定

## ア) ねらい

- ① 一人一人の子どもが、**安定感**をもって過ごせるようにする。
- ② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを**安心して**表すことができるようにする。
- ③ 一人一人の子どもが、周囲から**主体**として受け止められ、**主体**として育ち、**自分を肯定する気持ち**が育まれていくようにする。
- ④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、**心身の疲れ**が癒されるようにする。

## イ) 内容

- ① 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、**応答的**な触れ合いや言葉がけを行う。
- ② 一人一人の子どもの気持ちを**受容**し、**共感**しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。
- ③ 保育士等との**信頼関係**を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、**自発性**や**探索意欲**などを高めるとともに、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。
- ④ 一人一人の子どもの**生活のリズム**、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容の**バランス**や**調和**を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。